

令和6年度自転車関連実施事業

資料1

通学

- 実現したい将来の姿
- ・子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
 - ・ルールをしっかりと理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
 - ・ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
 - ・子どもの時から、自転車のことをしっかりと理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
 - ・自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

令和6年度実施事業(案)					実施した事業		事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	取組・達成状況	
① 通学	安全教育	交通安全教育の継続・充実	1-1	子どもへの交通安全教室の実施	・小中学校、高校等へ、交通事故情勢等に合わせた交通安全教育を実施するとともに、自転車の整備・点検についても周知する。 ・豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊橋西高等学校と連携して自転車に関する啓発活動を行う。 [目標]子供の交通事故死者数 0人	令和6年度に実施した「自転車」を取り扱った交通安全教室 総計:107回 11, 500人(内訳は以下のとおり) ・小学生(中中学年):86回 5, 443人 ・中学生: 12回 3, 112人 ・高校生: 9回 2, 945人 令和6年度の子供の交通事故死者数は0人で、目標を達成した。 自転車教室の中で自転車の整備・点検について、自分でできる日常の点検、自転車店などでの定期的な点検の必要性を周知した。	豊橋市(安全生活課)
			1-2	豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	条例の周知を図っていくとともに、自転車の交通事故が多い世代である高校生の交通安全対策をより推進するため、市内の高等学校で交通安全モデル校を定め、行政・学校が一体となって交通事故削減のための取り組みを行う。	毎月1回の朝の交通立ち番への参加や、生徒の校内放送で交通安全を呼び掛け等と連携した取組を実施することができた。	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店
			1-3	200日間自転車無事故無違反ラリー	自転車の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的とし、豊橋市内の中学校・高校が参加する200日間自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成校への表彰を行う。	達成校:中学15校(参加22校) 68% 高校3校(参加11校) 27%	豊橋警察署
		指定通学路一斉点検の実施と対策の展開	1-4	通学路一斉点検	市内を12ブロックに分けたうち、令和6年度は7～12ブロックの学校で指定通学路点検を実施。点検結果による課題に対して、個別に安全対策を進める。	指定通学路点検により挙がる要望について、関係各課の検討結果を各校へ伝えることができた。要望が実現しない場合についても、理由を説明したり、代案を示したりして、理解が得られるよう努めた。	豊橋市(学校教育課、安全生活課、道路維持課)
	意識啓発	自転車に乗り続けることのメリットの周知・啓発	1-5	—	—	—	—
		自転車を放置させないための指導・啓発	1-6	自転車放置対策推進事業	・放置自転車を防止するための指導・啓発活動 ・無料駐輪場の整理等維持管理 ・市営駐輪場の利用促進策の検討・実施	【市営駐車場利用者数】 R5:1,388,844台 R6:1,333,348台(前年度比:96.0%) 【放置自転車撤去台数】 R5:979台 R6:808台(前年比:82.5%)	豊橋市(土木管理課) 指定管理者((株)日本メカトロニクス)、委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)、委託業者((株)日本メカトロニクス)
	支援・補助	自転車通学者のヘルメット着用に関する支援	1-7	豊橋市ヘルメット購入補助金	市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促す。(ヘルメット購入費用の2分の1 上限2000円) [目標]着用者数 昨年度比で増加	令和6年度補助金利用件数 2956件(内訳は以下のとおり) ・未就学児:484件 ・小学生:891件 ・中学生:396件 ・高校生:98件 ・その他:1087件 R6市民意識調査より自転車を利用している人のうちヘルメットを着用していると回答したのは、令和4年度は13.3% 令和5年度は23.6%、令和6年は31.2%増加していたため、達成。	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店 市内の制服取扱店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供	1-8	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	平成27年度より、継続してステッカーによる啓発をしている。	豊鉄バス
			1-9	自転車利用促進リーフレット作成	自転車通行の原則や注意事項、自転車通行空間やサイクルトレインなどを掲載したリーフレットを市内の高校1年生へ配布する。	市内の新高校1年生(約3500名)へリーフレット「豊橋CITY CYCLEスタートブック」を配布し、自転車通行の原則や注意事項、自転車の環境整備について周知した。	豊橋市(都市交通課)
			1-10	子どもへの交通安全教室の実施(再掲)	・小中学校、高校等へ、交通事故情勢等に合わせた交通安全教育を実施するとともに、自転車の整備・点検についても周知する。 ・豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊橋西高等学校と連携して自転車に関する啓発活動を行う。 [目標]子供の交通事故死者数 0人	令和6年度に実施した「自転車」を取り扱った交通安全教室 総計:107回 11, 500人(内訳は以下のとおり) ・小学生(中中学年):86回 5, 443人 ・中学生: 12回 3, 112人 ・高校生: 9回 2, 945人 令和6年の子供の交通事故死者数は0人で、目標を達成した。 自転車教室の中で自転車の整備・点検について、自分でできる日常の点検、自転車店などでの定期的な点検の必要性を周知した。	豊橋市(安全生活課)
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供	1-11	—	—	—	—

- 通勤
- 実現したい将来の姿
 - ・ 企業自身が自転車通勤のメリットを理解し、積極的に従業員に対する利用啓発を展開します。
 - ・ 毎日の通勤がリフレッシュや運動の時間になり、心も体も健康で明るく通勤しています。
 - ・ 朝夕通勤時間帯の道路混雑が改善し、さらに自転車も車道を走りやすくなります。
 - ・ 多くの企業が「健康経営」を実現し、働く場としての”とよはし” の魅力が高まります。
 - ・ 働く世代の生活習慣病などの有病率が低下し、市の医療費負担も軽減されます。

令和6年度実施事業(案)					実施した事業		事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	取組・達成状況	
② 通 勤	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施・充実	2-1	交通安全教室の実施	企業に自転車活用の安全啓発を図るニュースレターを配布	県境企業の8社に配布	豊橋市(都市交通課)
	意識啓発	企業での自転車活用促進に関する啓発	2-2	地域・職域連携推進事業 (とよはし健康マガジンの発行)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」に対し、市の施策や事業等に関する情報提供を行う電子マガジン「とよはし健康マガジン」にて、自転車利用促進に関する記事を掲載する。	・企業にPRしたい自転車による健康づくりに関する記事を、とよはし健康マガジンの9月号で配信した。 ・とよはし健康宣言事業所約180社に、とよはし健康マガジンを送付し、企業の労働安全衛生担当者を通じて従業員へ周知した。	豊橋市(健康増進課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
			2-3	健康経営推進事業 (とよはし健康宣言事業所認定制度)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」及び健康経営の取組を検討している企業に対し、とよはし健康宣言事業所に係る印刷物やホームページ等を用いて、健康経営の取組内容としてエコ通勤(徒歩、自転車や公共交通機関を利用した通勤)を推奨する。	健康経営(従業員の健康)という観点から、自転車利用の啓発を実施することができた。また、職場からの自転車利用を促すことで、これまで自転車利用をしていなかった個人(従業員)に対し、きっかけの提供や動機付けを行うことができた。 (とよはし健康宣言事業所) R2年:125社、R3:145社、R4:160社、R5:174社、R6:189社	豊橋市(健康増進課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
			2-4	環境マネジメントシステム推進事業	・豊橋市エコアクションプラン(第6次)の推進にあたり、研修などを通じて、エコ通勤の普及に努める。 ・とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用した管理及び報告。 [目標]エコ通勤の実施日数が令和元年度比で4%増加(272, 382日)	R6年度実績:247, 126日 目標達成率 :90. 7% 通勤方法については個々の職員のライフスタイルや勤務地に起因するものであり、容易に変更できないものである。また昨今の地球温暖化や熱中症問題等を考慮し、今後は無理のない範囲の取組みを推進したい。	豊橋市(ゼロカーボンシティ推進課) 豊橋市役所の職員
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の推進	2-5	自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	令和元年10月1日から加入義務となっている自転車利用者の自転車損害賠償保険等について、保険の募集案内を職員へ行う。	自転車損害賠償保険の加入を促進できた。	豊橋市(人事課)
	情報提供	企業と連携した健康効果の調査研究	2-6	自転車通勤切替による健康効果の検証	—	—	—
		安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	2-7	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)(再掲)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	平成27年度より、継続してステッカーによる啓発をしている。	豊鉄バス
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供	2-8	—	—	—	—

令和6年度実施事業(案)					実施した事業		事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	取組・達成状況	
③ 買 物	安全教育	店舗を通じた顧客対象の安全啓発	3-1	—	—	—	—
		交通安全教育の継続・充実(再掲)	3-2	高齢者への交通安全教室の実施(再掲)	「自転車」の交通安全教室の実施 [目標]高齢者の交通事故死者数 6人以下	対象:高齢者 回数:6回 204人 令和6年 交通事故死者数 6人	豊橋市(安全生活課)
			3-3	イベント内での自転車交通安全利用の啓発	車を使わない移動について考えるイベントのカーフリーデー内でヘルメット助成の対応や、反射材を使ったキーホルダーの工作体験をし、自転車安全利用の啓発を行う。	イベントを楽しんでもらいながら、自転車の安全利用について学ぶ機会を創出できた。 ・反射材を使用した工作体験 ・ヘルメットの展示・販売 ※(参考)カーフリーデー来場者数:約2,000人	豊橋市(都市交通課、安全生活課)
		貸付・補助事業と連携し安全啓発の実施	3-4	自転車安全利用の教育	三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出決定者に対し、安全生活課が配布しているヘルメット購入補助金のチラシを配布する。	ヘルメットを着用する重要性を伝えることができた。	豊橋市(保育課、安全生活課)
	意識啓発	買物交通を健康づくりの機会に活かす自転車活用 の周知	3-5	自転車活用による健康効果 の検証(再掲)	—	—	—
	支援・補助	貸付・補助による自転車 活用の実施(再掲)	3-6	三人乗り自転車貸出	就学前の満1歳以上4歳未満及び満2歳以上の幼児を2人以上養育し、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出を行う。 令和4年度より新規貸出受付を終了し、令和3年度より継続して利用を希望する対象者に限り貸出を実施する。	子育て家庭の日常生活における親子での移動手段として自転車の活用を促すことができた。	豊橋市(保育課)
			3-7	高齢者運転免許自主返納 電動アシスト自転車購入補助	1年以内に運転免許証を自主返納した70歳以上の方に対して電動アシスト自転車の購入代金を補助することで、利用を促進する。	免許返納をきっかけとした、電動アシスト自転車の利用を促進した。 令和3年度補助金利用件数 92件 令和4年度補助金利用件数 87件 令和5年度補助金利用件数 82件 令和6年度補助金利用件数 85件	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	3-8	【再掲】自転車安全・快適利用 啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	平成27年度より、継続してステッカーによる啓発をしている。	豊鉄バス
			3-9	サイクルトレイン等PR	土日祝日に実施しているサイクルトレイン周知のためのリーフレットを自転車販売店を通じて配布	自転車販売店協力14店舗	豊橋市(都市交通課)

令和6年度自転車関連実施事業

資料1

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
- ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

令和6年度実施事業(案)					実施した事業		事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	取組・達成状況	
④ レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	意識啓発	自転車を楽しむ機会の充 実	4-1	自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	小学1年生から中学生を対象として、施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わることができるサイクリング体験を提供。	子供たちが自転車に乗る楽しみ・きっかけを提供でき、参加者アンケートの満足度は高かった。令和5年度より低学年から参加可能としたことにより、多くの低学年の子たちにも参加してもらえ、一層の自転車利用の推進が図られた。 (4.13開催)参加者:10名、(11.27開催)参加者:10名	豊橋市(生涯学習課少年自然の家)カントリーモーニング
			4-2	デジタルサイクリングマップを利用したサイクリングイベント	カーフリーデー開催に合わせてサイクリングをより快適に楽しむため、デジタル化した「はしってみ輪とよはし」サイクリングマップを活用したサイクリングイベントを開催。	市内のチェックポイントを周る形式で、サイクリングだけでなく、豊橋という街を楽しんでもらうきっかけづくりとなった。 参加者:55名	豊橋市(都市交通課)カントリーモーニング
			4-3	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルの開催	秋のサイクルガイドツアーでは豊橋公園を発着とし、JR移動を利用し新城方面に訪れた。行程に豊橋の観光資源である牛川の渡しを取り入れ実施。春はヤマサちくわ下地店を発着とし、初めて蒲郡方面を訪れるコースで開催。	・サイクルガイドツアー(11月)参加者:36名、(3月)参加者:41名 ・コース実施における関係団体との連携。(豊橋市、ほの国東三河観光ビューロー、蒲郡市、ヤマサちくわなど) ・ガイドツアー実施時における、参加者への安全教育の実施。	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会(事務局:(一社)豊橋観光コンベンション協会、豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋市スポーツ協会、豊橋総合動植物公園、豊橋みどりの協会)
			4-4	市民スポーツ祭2024【自転車】の開催	・市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアル(400m、1km)を行う。 ・小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。	普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらった。令和6年度豊橋自転車競技大会と同日開催(R6.7.21開催) 参加者:56名	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
			4-5	第41回とよはし・チーム・ピストを開催	—	—	—
			4-6	第21回豊橋万場クリテリウムロードレース大会の開催	万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催	悪天候のため中止(開催予定:R6.9.22)	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市スポーツ協会、独立行政法人水資源機構
			4-7	とよはしサイクルマラソンを開催	レースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会	新城桜淵公園スタート・ゴール東栄町を周遊するコースにて実施。 (R6.10.6開催) 参加者:60名	豊橋自転車競技協会、東栄町、新城市、(公財)豊橋市スポーツ協会
			4-8	令和6年度豊橋自転車競技大会の開催	昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図る。	1kmタイムトライアル、エリミネーションスクラッチ、ケイリンの種目があり、競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られた。市民スポーツ祭2024【自転車】と同日開催。(R6.7.21開催) 参加者:58名	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
			4-9	カーフリーデーの開催	車を使わない移動手段について考える「カーフリーデー」イベント内で自転車を使ったロゲイニングイベントを開催。その際、イベント開始前に自転車に関する安全教育の実施や、災害時の活用方法の周知を行う。	ロゲイニングイベントの開催 参加者数:55名 ※(参考)カーフリーデー来場者数:約2,000人	豊橋市(都市交通課、安全生活課)カントリーモーニング

令和6年度自転車関連実施事業

資料1

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
 - ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

災 害

- 実現したい将来の姿
 - ・ 災害時の備えとして自転車を整備し、利用することで、日常での活用推進にもつながります。
 - ・ 備えを行うことで災害に対する意識が高まります。
 - ・ 災害時においても自転車での避難が可能となります。
 - ・ 発災後、自転車を活用することで、移動手段を増やすことができます。

令和6年度実施事業(案)					実施した事業		事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	取組・達成状況	
④ レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	意識啓発	サイクリスト受入環境の 向上	4-10	サイクルツーリズムの推進	道の駅「とよはし」でレンタサイクルの運営(専属スタッフの配置)、サイクリング 関係消耗品の販売や、他地域のサイクリングに関する情報収集及び発信や観光 案内。	・道の駅とよはし地域振興施設でのE-BIKEのレンタサイクル 令和6年度実績 151件 ・道の駅とよはし地域振興施設内サイクリング関連消耗品の販売実施 ・サイクリングに関する情報発信を実施	豊橋市(農業企画課) 株式会社道の駅とよはし 豊橋観光コンベンション協会 市内自転車関係事業者
			4-11	サイクルピットの設置	市内の公共施設やコンビニなど、自転車の簡易なメンテナンス等を行える場所 として22箇所のサイクルピットを設置しており各施設や店舗で運用する。	自転車用工具や空気入れ等の貸出を行った。	豊橋市(健康増進課、都市交通課、 「スポーツのまち」づくり課、「文化 のまち」づくり課、生涯学習課、美術 博物館、(株)道の駅とよはし、コンビ ニ など
			4-12	工具ステーションの設置	サイクリストの利便性を高めるため、24時間自転車の簡単なメンテナンスがで きる工具ステーションをサイクリング発着地となる市内主要3か所(道の駅とよ はし東側駐車場、豊橋駅南口駅前広場、リすば豊橋駐輪場)に設置しており、運 用を行う。	半年に1度ほどの職員による工具ステーションの状態確認を行った。 概ね状態は良好であるため、今後も継続して維持管理を行う。	豊橋市(観光プロモーション課、健 康増進課)、(株)穂の国健幸づくり パートナーズ(施設管理者)、(株)道の 駅とよはし
	情報提供	サイクリング・ポタリング コースの情報提供	4-13	デジタルサイクリングマップ の活用	サイクリングマップ(紙・デジタル)の活用について、ホームページへやイベントな どにより周知する。	・googleマップを使用しデジタル化、サイクリングアプリやサイクルコンピュータ で活用可能なgpxデータを市HPで公開。 閲覧回数:1,643回 ・「デジタルサイクルラリー2024」イベントを開催し、デジタルサイクリングマップ の使い方を説明、イベントではコース上の危険箇所や立ち寄りスポットなどを掲 載し活用してもらった。 参加者数:55人	豊橋市(都市交通課)
		レクリエーション・観光情 報の情報発信	4-14	自転車利用促進リーフレット 増刷(再掲)	自転車通行の原則や注意事項、自転車通行空間やサイクルトレインなどを掲載 したリーフレットを市内の高校1年生へ配布する。	市内の新高校1年生(約3500名)へリーフレットを配布し、自転車通行の原則や 注意事項、自転車の環境整備について周知できた。	豊橋市(都市交通課)
	⑤ 災 害	意識啓発	5-1	防災講座等による災害時の 自転車活用に関する啓発	自転車活用推進計画と連携し、災害時の備えとして、自転車をいつでも利用で きるように定期的に整備することや、災害時の自転車活用の必要性を啓発す る。	災害時の適切な移動手段はその時の被災状況や住環境によって異なることから、 非常時の移動手段の一つとして各自で考えるよう啓発した。 令和6年度 防災講座 実績363回 参加者57,973人 ※防災講習会・防災訓練等を含む	豊橋市(防災危機管理課、都市交通 課)
					「デジタルサイクルラリー2024」イベントにより、災害時の自転車活用に関する 講演を行った。	参加者数:55人	豊橋市(都市交通課)
	支援・補助	災害時などの自転車の整 備点検	5-2	—	—	—	—
	情報提供	防災啓発資料への自転車 活用情報の提供	5-3	—	「デジタルサイクルラリー2024」イベントにより、災害時の自転車活用に関する 講演を行った。(再掲)	参加者数:55人(再掲)	豊橋市(都市交通課)

通行空間

- 実現したい将来の姿
 - ・市内の中学校、高等学校、大学、企業、店舗などに安全・快適に移動できるようになり、自転車事故の減少や過度な自家用車からの転換が期待できます。
 - ・鉄道駅などに安全・快適に移動できるようになり、自家用車での送迎などが減少します。
 - ・レクリエーションや観光、健康づくりなど、余暇で自転車が利用しやすく、楽しみやすくなります。

駐輪環境

- 実現したい将来の姿
 - ・サイクルアンドライドがしやすくなり、鉄道駅にアクセスする際の移動手段として、自家用車利用から自転車への交通手段の転換が期待されます。
 - ・まちなか駐輪環境が向上することにより、中心市街地に自転車で訪れやすくなり、まちなかのにぎわい向上が期待されます。

令和6年度実施事業(案)				実施した事業		事業実施関係団体
事業の区分	施 策	整理番号	事業名称	事業内容・目標	取組・達成状況	
自転車活用を支える基盤づくり	【通行空間】の整備	安全・快適な自転車ネットワークの整備	6-1 自転車通行空間の整備(豊橋市)	整備計画による自転車ネットワークの整備を実施。 優先整備路線:L=78.70km	整備計画により、優先整備路線のうち市道 花中町・柱一番町1号線ほかにおいて、約0.747kmの自転車ネットワークの整備を行った。 令和6年度、予定していた箇所について、自転車ネットワークの整備を実施できた。今後も計画に基づき自転車ネットワークの整備を実施していく。	豊橋市(道路建設課)
			6-2 自転車通行空間の整備(愛知県)	—	—	愛知県 (東三河建設事務所 道路整備課)
		自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	6-3 自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	—	—	—
	【駐輪環境】の整備	サイクルアンドライド駐輪場の整備推進	7-1 サイクル&ライド駐輪場の整備	利用状況に応じて整備を検討	バス停の駐輪場について、交通事業者と候補地(西部団地)の現地確認を行い、整備に向けた検討を行った。	豊橋鉄道 豊橋市(都市交通課)
		まちなかにおける駐輪環境の向上	7-2 自転車等駐車場管理運営事業	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を継続するとともに、長寿命化計画に基づく施設修繕を行う。	・オートスロープ修繕 ・西口地下エリア泡消火設備取替修繕 ・券売機のキャッシュレス精算対応	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(株式会社日本メカトロニクス)